



TSUNAGI 2

つなぎ議会だより February

つなぎ議会だより

2020.2

発行：熊本県津奈木町議会
編集：議会広報委員会

〒869-5692
☎0966-785351

熊本県章北郡津奈木町小津奈木2123
印刷：旭印刷株式会社

インタビュー 夢つなぎ人



プロフィール
濱田 輝久(はまだ てるひさ)
昭和46年7月7日生まれ48歳
濱田 亜美(はまだ あみ)
昭和52年1月17日生まれ42歳
10年前、津奈木町にUターン
小さくて強い産業づくり会議
プロジェクトメンバー
漁師・水産加工・販売
屋号は「平国丸」

平国地区で
水産物加工・販売に
挑戦する、
濱田さん夫婦に
うかがいました。

津奈木町 B&G 海洋加工センター

限界突破 × 町議会!



第39回全日本バレーボール小学生大会に熊本県代表で出場!

津奈木の魚を全国に!

漁師がすから水産加工で儲かる漁業に挑戦!



水産加工を 始めたきっかけは?

私が子供の頃、魚が沢山とれていました。10年前、津奈木に帰って漁師を夫婦で始めました。水揚げ量が減る中、安定した経営が出来ないか、いつも考えていました。不知火海の魚はどれもおいしいので、津奈木町で水揚げされた魚を、消費者に直接届ける方法はないかと思っていました。

どんな加工を していますか。

津奈木沖ではいろいろな魚がとれます。五智網という漁法で、季節ごとに旬の魚を夫婦でとっています。

今後の展開は?

魚が沢山とれていた頃の不知火海にはなかなか戻れないかもしれませんが、水揚げできる量は限られますが、加工することで付加価値をつけ、冷凍保存することにより、水揚げがない時期でも、出荷することが出来るよう考えています。

町議会へひとこと。

もつと漁業関係者とのコミュニケーションをとり、手助けしていただきたいと思っています。

編集後記

令和の時代になって初めての正月、晴天に恵まれ穏やかな新年の幕開けからひと月が経ちましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
私は暮れの26日、ハブニング発生で右手手の平を火傷、病院通いの年末年始でした。当たり前の日常が突然奪われ、当たり前の日常がどれだけ大切で幸せであるか、改めて感じる日々となりました。地球温暖化が影響しているといわれる異常気象による自然災害、被害が拡大し、日本列島を、私たちの生活を脅かしています。常に危機感を持って、心の備え、物資の備えは日頃から取り組みたいものです。
議会だよりも、議会改革の一つとして、読んでいただけの紙面作りを目指します。今年もよろしくお願いたします。
澤井 静代

議会広報委員		
委員長	宮嶋 弘行	本山 真吾
副委員長	橋口知恵子	澤井 静代
委員	澤井 静代	上村 勝法

P 2・3	第4回定例会 令和元年度補正予算などを審議
P 4・5	【解説】未来のために、農地集積を急げ!
P 6~9	一般質問 4議員が町政を問う!
P 10	議会改革特別委員会が発足。
P 11	議員研修報告 北海道浦幌町
P 12	インタビュー 夢つなぎ人

12月定例会

12月議会のあらまし

令和元年第4回定例会が、12月11日から13日までの3日間開催されました。本定例会では、令和元年の3日間開催されました。本定例会では、令和元年の3日間開催されました。本定例会では、令和元年の3日間開催されました。

なお、昨年4月に執行された町議会議員選挙において初めての定数割れとなったことで、「議員のなり手不足問題」など、今後の議会のあり方について調査・研究を行うため、議会改革特別委員会の設置を全議員一致で決議しました。

平成29年地方公務員法改正による 役場非常勤職員・臨時職員の働き方改革・処遇改善 会計年度任用職員制度について 解説します。

会計年度任用職員制度とは

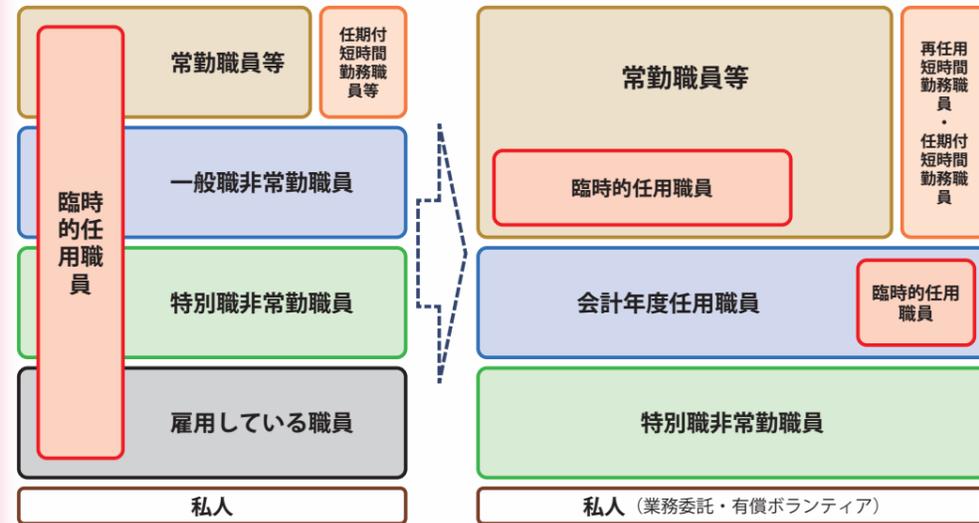
地方公務員法などが改正されたことに伴い、令和2年4月から新たに会計年度任用職員制度が創設されます。

会計年度任用職員は、地方行政サービスの重要な担い手となっている嘱託職員・臨時職員の適正な任用および勤務条件の改善を図るために創設された、一般職非常勤職員のことをいいます。

令和2年4月1日からは、一般職の地方公務員として位置付けられ、一会計年度を超えない範囲で最大1年間の任用も可能です。要件に該当すれば、期末手当や通勤手当などの手当も支給されます。

勤務形態は、大きく分けて次の2種類が、業務内容によって勤務時間が異なります。

- 1週間の勤務時間が正職員（38時間45分）と同一の時間である「フルタイム会計年度任用職員」
- 1週間の勤務時間が38時間45分未満の「パートタイム会計年度任用職員」



津奈木町で係る嘱託職員数は 78人

保育園	18	総務課	5
放課後児童クラブ	4	予約タクシー	2
教育委員会(学校含)	14	議会事務局	1
幼稚園	4	振興課	3
給食センター	7	政策企画課	5
ゴミ処理場	3	美術館	2
ほけん福祉課	7	文化センター	2
住民課	1	合計	78

(令和元年12月現在)

必要となる予算は

必要となる予算は
約1億6千500万円！
関連する予算の増額分は
約900万円となります。



令和元年 第4回定例会

一般会計

増額5,250万円！

..... 補正予算の主なもの (金額：千円)

事業名	予算額	事業内容
職員・特別職の給料および職員手当など	3,210	人事院勧告による職員および特別職の給与改定に伴う増額(一般会計分)
法改正に伴う総合行政システム改修委託料	2,343	令和2年度から会計年度任用職員制度が開始されるため、その運用管理に係るシステム改修委託料を追加
地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	23,130	地域密着型特別養護老人ホーム「つなぎの里」および「認知症高齢者グループホーム「りんごの里」が非常用自家発電設備を整備する費用に国庫補助金が町を通じて交付されるため、補助金を計上
生活交通維持・活性化総合補助金	1,465	国道3号を運行する産交バスへの赤字補填として補助金を追加
公園等環境整備委託料	1,169	男島公園・赤崎赤尾島の松くい虫防除に係る経費を追加
熊本型樹園地集積モデル事業補助金	2,641	犬瀬地区の樹園地を集積し、新たな作業道の新設に対し、県・町からの補助金分を計上(国からの補助金は、別途助成有り)
土砂災害危険住宅移転促進事業補助金	3,000	土砂災害危険区域(レッドゾーン)内にある竹中地区1世帯分の移転に係る補助金を計上
小・中学校体育館バスケットゴール等落下防止工事	1,539	地震対策として、バスケットゴール・照明器具の落下防止の工事費を計上
介護保険事業計画調査集計分析業務委託料	1,672	令和2年度からの第8期介護保険事業計画策定に向けた、アンケート調査費や集計分析業務委託料を計上

主な質疑

問 熊本県樹園地集積モデル事業補助金について説明を求める。

答 津奈木町樹園地地区営農改善組合で進めている事業で、福浜の犬瀬地区の樹園地を集積化し、新たな作業道を整備する事業である。(詳しくは4・5ページで解説)

問 歳入の農林水産業県補助金で、くまもと未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業補助金の内容は。

答 町で収穫されたお米を使ったプロジェクトで、流通システムの構築に向けた連携会議や地産地消の取り組みに対し、アドバイスを受けるための講師の謝金、また費用弁償に充てるための県の定額補助である。

問 介護保険事業計画調査集計分析業務委託料は、8期作成のためにアンケートをとる内容であるが、どういう人を対象にするのか。

答 介護保険事業計画の調査委託料には、介護予防・日常生活圏域二丁目調査委託料で65歳以上の要介護認定者以外の方を対象に調査するものと、在宅介護実態調査委託料で施設入所者及び新規認定申請者を除く要介護あるいは支援認定者を対象とする在宅の方である。

問 アンケートから色々なことが出ると考えられるが、保険料の段階の分析はどうなるのか。

答 調査等行い、その内容の分析等も委託の中で検討して決定したい。

そこを
深堀!

農地集積を急げ!



未来のための農地基盤整備とは 進まぬ果樹園集積

農業が抱える問題 一番の問題は・・・
⇒深刻な担い手不足（農家の後継者不足）

- ・離農者の増加
- ・耕作放棄地の増加

- ・担い手不足
- ・農家の高齢化
- ・後継者不足
- ・農業従事者の減少

担い手不足による
農業衰退の
負のスパイラル

解消のために

- ・生産力の低下
- ・農業所得の低下

農地の集積化 基盤整備事業!

あしきた農業・農村の課題

高齢化の進展 基幹的農業者の占める 高齢者の割合	担い手の減少 総農家数はH22年度 までの10年間で	経営規模が小さい 経営規模 1 ha未満の 農家が全体の	耕作放棄地の増加 耕作放棄地の割合
県内：68.3% 管内：56.3% 町内：73.3%	管内：15%減少 町内：21.9%減少	管内：70% 町内：74%	県内：13% 管内：29% 町内：9.2%
※H27農業センサス	※H12とH22農業センサス比較 ※H17とH27を比較 した場合の町の数値： 24.3%減少	※H27農業センサス	※町の数値はR元年度

農家の高齢化や後継者不足を背景に、今後、急速な農家の減少が予測されることから、農地を遊休化させず担い手となる農業者等へ引き継いでいくとともに、土地利用型農業等を中心として規模拡大とコスト削減による稼げる農業を確立することが急務となっております。

このため、地域の農地所有者とその利用者による話し合い活動に基づいて、認定農業者や地域営農組織等の担い手へ農地を集積しながら、地域の農業を維持・発展させる取り組みを推進していく必要があります。

熊本県樹園地集積モデル事業は、前記のような地域ぐるみの徹底した話し合いにより定める今後の地域農業の中心となる担い手（以下「担い手」という。）に対し、農地集積等に取り組む地区を県又は市町村が指定し、

事業の説明とアンケートを行い具体的に進めていきました。本営農改善組合では、2箇所の園地集積を指しましたが、今回は吉野充浩（33）氏の園地に周辺の賛同地主様の園地を借り入れて集積化し、県道からトラック等が直接園地まで進入できる作業道の整備を中心とした基盤整備を行うことになりました。

令和2年3月までには整備工事が完了する見込みです。

今回の事業は、事業概要周知のモデル園地を整備し、今後より多くの対象農業者に農業基盤整備を進めてもらい、地域の農業を守ってもらう事を目的としています。

今後国・県・町から農地集積の促進や基盤整備に対する補助政策は行われませんが、事業によっては面積要件があり、事業推進のた

農家の高齢化や後継者不足を背景に、今後、急速な農家の減少が予測されることから、農地を遊休化させず担い手となる農業者等へ引き継いでいくとともに、土地利用型農業等を中心として規模拡大とコスト削減による稼げる農業を確立することが急務となっております。

このため、地域の農地所有者とその利用者による話し合い活動に基づいて、認定農業者や地域営農組織等の担い手へ農地を集積しながら、地域の農業を維持・発展させる取り組みを推進していく必要があります。

熊本県樹園地集積モデル事業は、前記のような地域ぐるみの徹底した話し合いにより定める今後の地域農業の中心となる担い手（以下「担い手」という。）に対し、農地集積等に取り組む地区を県又は市町村が指定し、

事業の説明とアンケートを行い具体的に進めていきました。本営農改善組合では、2箇所の園地集積を指しましたが、今回は吉野充浩（33）氏の園地に周辺の賛同地主様の園地を借り入れて集積化し、県道からトラック等が直接園地まで進入できる作業道の整備を中心とした基盤整備を行うことになりました。

令和2年3月までには整備工事が完了する見込みです。

今回の事業は、事業概要周知のモデル園地を整備し、今後より多くの対象農業者に農業基盤整備を進めてもらい、地域の農業を守ってもらう事を目的としています。

今後国・県・町から農地集積の促進や基盤整備に対する補助政策は行われませんが、事業によっては面積要件があり、事業推進のた

めには、農家のまとまりが必要となるため、より多くの農家の方が農地の集積による地域農業のメリットを理解して事業を推進していく必要があります。

今回の事業を通じて課題も見えてきました。津奈木町の農業の課題は、県内及び振興局（芦北町・津奈木町・水俣市）のデータを分析すると、

- ① 高齢者の割合が高い。
- ② 担い手は減少。
- ③ 経営規模が小さい。
- ④ 耕作放棄地は少ない。

※上記の「あしきた農業・農村の課題」参照。
となっております。

一次産業は津奈木町の基幹産業であり、農地の集積化・効率化を進めて行かなければなりません。

今後、議会は、役場と共に事業を後押ししてまいります。

交付金による重点的な支援を行うことで、担い手への農地集積のさらなる加速化を図ることを目的として津奈木町でも平成29年度からこの事業に応募しました。

当初、果樹部会役員やJA青壮年部が中心となり、事業推進員会を設立し、芦北地域振興局農業普及・振興課、熊本県農業公社、津奈木町振興課、JAあしきたの協力を得て、津奈木町樹園地区の農地集積及び基盤整備に係る営農改善組合設立に向け、数回の会議を開催し、平成31年2月に「津奈木町樹園地集積営農改善組合」を設立しました。その中で、モデル事業推進のための対象地区を果樹栽培の中心となる地区である福浜地区の中から、赤崎の犬瀬地区に決定しました。

その後、犬瀬地区に樹園地を所有又は耕作する方に2回集まっていたいただき、本



町民へもっと 暖かい支援を!!

宮嶋 弘行 議員

おれんじ商品券とプレミアム 商品券は振興できたか!?

問 10月より発売されている『おれんじ商品券・プレミアム商品券』の12月12日現在の販売実績はどうなっているか。

前回実施した時のプレミアム商品券の販売実績は?

答 国の補助である『プレミアム商品券』は発行予定6,840冊に対して1,516冊で22.2パーセントで、町単独事業『おれんじ商品券』は3,000冊に対して2,197冊の73.2パーセントの販売実績となっている。販売することが目標ではなく、町内商工業者の経済の刺激策を重要と考えている。

2015年に実施した時の販売実績は、12,000円を10,000円で購入できたもので、5,500冊を完売している。

◎購入していない人への主なアンケート結果

- ・役場での販売に対してとても行きづらかった
- ・町内店舗と事業所での使用目的がなかった
- ・日常の生活費として商品券の利用する必要がなかった
- ・1割に対してお得感を感じなかった、もっと割得が欲しかった
- ・福浜地区(赤崎・平国・福浦)の方にとっては、町内店舗での購入頻度が少ない

以上のような意見などがあつた。

2月までの利用期間に対して、少しでも購入していただくことを願いたい。

次はブロンズマラソン大会30回目!!

問 つなぎふれあい祭り「ブロンズマラソン大会」も来年で節目の30回を迎えるが、記念事業

として、予算増額の検討はないか。

答 20周年の時には、水俣芦北地域振興財団の助成金をいただいて事業を行っている。当時325万円プラスの825万円でふれあい祭りを開催している。30周年のふれあい祭りの予算枠としては、ブロンズマラソン大会も含め今後の盛り上がりや集客につながるような事業計画を立て令和2年度の予算要求を行うこととしている。

改善センター改修が多方面に 対しての対応能力を!

問 改善センター改修工事が計画されているが今後の利活用について伺いたい。

改善センターは避難場所としても開設されているが、障がい者や高齢者にとって、もっと利用しやすいトイレにするべきと思うが検討しているのか、玄関の椅子等も新しくしたらどうか。

答 工事予算は国民健康保険特別会計で計上しており、目的として健康づくり事業の中心的場とし、健康センターとしての調理室などの改修を行うもので、約40年前の設備のため、老朽化と衛生面の保持が難しいため計画している。

育児学級・高齢者の給食サービス・スローフード料理教室・ふれあい祭りの炊き出しなどの利活用をおこなっている。

障がい者や高齢者の利用しやすい多目的トイレの設置は必要と考えている。既存のトイレの対応性とスペース等を含めて検討したい。

大泊防波堤局部改良工事及び防波堤の延長工事はできないのか

柳迫 好則 議員



防波堤の補修工事はするのか?



問 大泊漁港防波堤局部改良工事について、第9期津奈木町振興計画の水産物供給機能保全事業で、内訳として、係船護岸実施設計、補修工事、物揚場補修工事とあるが、波止場の補修補強工事は行うのか。

答 指摘の波止場は、灯台のある防波堤と考えるが、補修、補強工事については、平成28年度に水産物供給基盤機能保全計画策定業務で、港内の11施設の機能診断調査を実施した。

その中で、施設の移動、沈下、劣化、損傷状況を目視による簡易調査し、老朽化度の評価を行った。

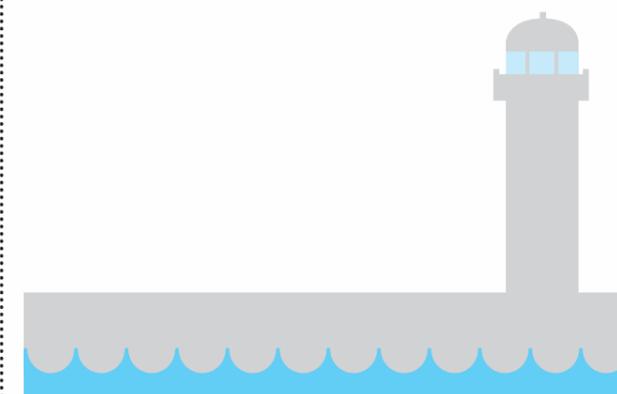
安全性に及ぼす影響を踏まえて、機能診断した結果、その防波堤は2センチ程度のひび割れとコンクリートの劣化が発生しており、一定期間内に補修をしないと、機能低下をする恐れがあると評価された。

その他の部分については、老朽化は認められず機能は維持している。補修工事については、本年度より早急に改修が必要な11施設中5施設は、年次計画で工事を行っている。

防波堤は延長しないのか?

問 その防波堤は、27年前に50メートルほど延長する予定だったと思うが、対岸に養殖場があったため、返し波の影響が心配されるということで中止になった。現在、養殖場はないが、防災面からしても必要と思う。延長工事はできないのか。

答 現在、計画するには、漁船数と漁獲量等の減少を考えた場合、国、県に予算要求し、獲得するには非常に困難で、町単独事業としても負担が大きいので、延長工事は無理ではないかと思われる。





どうする学校給食における食物アレルギー対策

澤井 静代 議員

食物アレルギー対策の改善は？

問 平成27年6月議会において同じ質問をした経緯があるが、来春の入学児童で食物アレルギー対策の対応が必要となる児童がいると聞いている。現在、どのような対策をすすめているのか。

答 学校給食における食物アレルギー対応において、最優先すべきことは安全性である。毎年調査を行い、アレルギー物質や症状の把握、給食での対応が必要な場合は医師の診断書や生活管理指導表を提出してもらい、場合によっては食物負荷試験の実施などを進め、詳細な情報収集に努めている。来春入学予定児童への対応は、小学校において保護者との面接を実施した結果、重篤なアレルギーである。現在は食物負荷試験の実施を勧めており、提出を待っている状態であるが、話し合いをする中でかなり厳しい状況であり、弁当で対応できないか、お願いしているところである。

問 9月議会において給食センターは老朽化しており、ほとんどの機器が耐用年数を過ぎ、故障時には補正予算で対応している。来年度当初予算から過疎債の対象となるように計画的な更新を検討中である。との答弁だったが、食物アレルギー対策については、どのような考えなのか。

答 食物アレルギー対応においては、混入を防ぐために区画された部屋や専用のスペースなどにおいて調理し、専門の調理器具を使用し保管するとともに、専任の調理人も必要となる。対応レベルが1から4まであり、現在食物アレルギー対応が必要な児童生徒が2人いる。食品の使用頻度、調理作業面等からの対応できる食品も限られており、安全性を確保しながら、できる限りの対応は行っていき

たい。本施設で重篤な食物アレルギーに対応する場合、改修事業などが必要になり費用が発生するため、今後の検討が必要である。

問 子育て支援に力を入れているなかで、食物アレルギー対策も安心して産み育てられる環境づくりの一つと思うが、今後どうしていくのか。

答 全国の先進地を参考にしながら総合的に考え、どういう落ちつきができるかを、保護者も含めて協議をしていきたい。

防災対策や景観上でも整備が必要では！

問 想定外は通用しない時代になり、自然災害においては常に危機感が必要である。河川の維持管理は、防災対策としても重要である。

文化センター横の元の通学道路とその横を流れる川が荒れているが、管理はどうなっているのか。

観光施設が周辺にあり、景観上も整備する必要があるのではないか。

答 染竹川は町の準用河川であり、同時に熊本県の砂防指定を受けており、町と県の双方で管理をしている。

パトロール実施において伐採や除草の必要があると判断し、既に業者から見積もりをとり、契約まで終了をしている。

早ければ年内に、遅くとも来年初めには委託業務を発注する予定である。

※その他の質問

- ・職員教育

小・中学校の教職員の働き方は大丈夫？

橋口 知恵子 議員



教職員の1カ月当たりの超勤45時間以上が7割以上！

問 小・中学校の年間標準授業時間数は何時間で、本町の授業時間数は何時間か。予備日を設定しているのは何故？

答 小学校1学年850、2学年910、3学年945、4～6学年980時間で、中学校は、3学年とともに1015時間である。来年度からは、外国語授業が1・2学年15、3～6学年は35時間プラスとなる。予備日は、災害やインフルエンザなどの不測の事態のために5日程度である。

問 教職員組合のアンケートに在校時間の正確な記録ができていないと回答がある。把握しているのか。超勤時間を80時間以内に抑えるように指導しているのか。

答 バーコードリーダーで記録し、学校、教育委員会に記録の確認はしている。正確な記録ができないのは、本人の押し忘れや機械の故障がない限り、正確な記録がされているはずである。ありのままの記録を報告するように指示し、80時間以内に抑えるようには指導していない。

問 教職員組合のアンケートで、休憩が取れないが88%である。改善策は。

答 休憩時間も児童生徒が活動しているためとれていないのが現状で、これまでも課題であった。今のところ、やむを得ない緊急の場合を除き、休憩時間中の仕事の指示や会議などを開かないよう

に指示したい。

災害に備え、町の防災対策を強化すべき！

問 災害発生時の職員の対応は、正規職員である。本町は、非正規職員が5割となり、正規職員だけで災害に対応するには限界である。見直しが必要ではないか。

答 職員71名、嘱託職員61名である。職員で対応しているが、令和2年度より、嘱託職員が会計年度任用職員に移行し、災害対応が可能となり、これまで以上に対応できると考える。防災計画の見直しは、受援計画を今年度中に策定し、災害対応、復旧復興を円滑に進める取り組みをしている。会計年度任用職員の防災計画の見直しも図りたい。

問 熊本県総合防災訓練を実施。訓練に参加した自主防災会は、赤崎・平国・福浦と限定されていた。残された地区も含め、全町で実施することが必要ではないか。

答 大規模地震の初動期に対応すべき事項について、実動訓練、図上訓練を実施。震度6強の地震と津波警報が発令との想定で、対岸に面する福浜地区を対象に避難訓練、避難所開設訓練を実施した。今後は、大雨による河川の氾濫、土砂災害など、災害の種別ごとに対応した避難訓練を実施したい。

※その他の質問

- ・臨時教職員を正規職員へ！
- ・ペット同伴での避難所への受け入れは？

いま、求められている議会をめざして!!



～議会改革先進地

北海道浦幌町議会研修をへて～



目的

昨年の町議会議員選挙において、1人欠員の無投票当選となり、それを期に全員協議会を毎月開催し、議員のなり手不足対策と議会活動の活性化を図るため議会改革を行うこととなり、議会改革の先進地である浦幌町議会を視察研修した。

浦幌町の概要

明治33年に、3村が合併し、昭和29年に町制施行。道東に位置し、釧路と隣接

浦幌町議会の取り組み

平成23年の改選後、議会の活性化が必要と判断（第1次活性化）、議長が議会活性化に係る7項目の諮問を行い、詳細な協議を行うため55項目を掲げ、現状課題、解決策をまとめ、その全体像として議会基本条例を制定し、平成25年4月から施行した。この間、議員協議会を50回以上開催し協議を行っている。改革の主なものは、休日・夜間議会の開催、議会モニター制度、議会報告会、議会町民箱設置、議会評価の仕組み等を決定した。



川野議長より研修御礼の挨拶

研修のまとめ

今回の視察は、議員のなり手不足対策として、議会活動を活性化し、町民の議会活動への理解を深めるために、議会改革を実施することである。その目的達成のためにも今回の視察の成果を十分に活かし、議会改革を推進することが、議会の役割（議決権・チェック機能）を果たすとともに、住民の要望を町政に反映させ笑顔溢れる元気な町にするために頑張らなければと強く思い視察を終えた。



休憩中の自由な意見交換風景

町民による、町民のための開かれた議会を!!

令和元年第4回12月議会定例会において、議員定数割れに伴い、今後の議会のあり方について、調査・研究を行うため議会改革特別委員会の設置を全議員一致で決議した。

議会改革特別委員会設置

議会改革を行う上での目的として、もっと町民の皆様に寄り添った議員活動を行う事が、最重要課題として基本条例などの策定を行い、議員自ら出向き色々なご意見・ご要望などを伺い町政に反映し、町民皆様の負託に応えるべき活動により、津奈木町が少しでも明るい町になるよう努力したいと考えている。

令和2年1月16日、改革案につき協議開催。

【委員紹介】

委員長 宮 弘 行
副委員長 澤 静 代
委員 久 昌 司
橋 口 知 恵 子
上 村 勝 法
本 山 真 吾

読みたくなる議会だよりへ～町村議会広報研修会～



自治会館での研修会

令和元年11月22日、熊本県市町村自治会館での町村議会広報研修会の第4グループに参加した。第4グループは8町村で、6町村がクリニツクの申請をしていた。本町は昨年の町議会議員選挙後、新たな広報委員となり、議会改革を行う第一歩として、議会だよりで取り組みを始めたため、クリニツクを依頼した。

結果、「町民が興味をひく記事」を載せてある。文字数もできるだけ少なく、写真なども多く使っており、すごく親しみやすい。」と、嬉しい好評をいただいた。

今年も、広報委員ワンチームで読まれる、親しまれる紙面づくりに取り組んでいきたい。

議会を傍聴してみませんか

町政を知るためにぜひ傍聴して下さい。手続きは簡単で、役場3階の議場傍聴席入口の受付簿に記入していただくだけです。

次回の定例会は、3月3日(火)から19日(木)までの予定です。

■問い合わせ/議会事務局 0966-78-5351



次回5月1日発行予定

各委員会の活動・一般質問

『特集』令和2年度当初予算 他

議会のうごき

【12月】

4日 議会運営委員会
11日～13日 第4回議会定例会
25日 広域行政事務組合議会定例会

【1月】

15日 各常任委員会
16日 議会改革特別委員会

【2月予定】

10日 熊本県後期高齢者医療広域連合議会
14日 県町村議会議長会定期総会
19日 各常任委員会・議会改革特別委員会
25日 議会運営委員会

【3月予定】

2日 水俣芦北地域振興財団理事会
3日～19日 第1回議会定例会
6日 議会運営委員会
23日 広域行政事務組合議会定例会